

関西コイルセンター工業会(会長・竹林泰治福栄鋼材社長)は5月の総会で、活動内容を見直し、そして新たな委員会を発足して新役員体制でスタートを切った。同会の取り組みなどについて竹林会長に話を聞いた。

(綾部 翔悟)

——昨年5月に工業会の会長に就任して以降、積極的に活動内容などを見直している。

「我々のCC業界を取り巻く環境が大きく変化し、課題が山積となっていて、昔と変わらない活動を続けていることに危機感をもった。また、会員数が漸減していることに加えて諸コスト高も

関西コイルセンター工業会 新役員体制スタート

竹林 泰治会長に聞く



あり、財政的に年々厳し
ニュートラルへの取り組み、財政的に年々厳しくなっており、活動の活
みなどを講演していただ
「今年度は電炉メーカ
我々の業界にとつて1丁
性化と予算見直しによる
いた。実に有意義な内容
12社の講演を予定して
目1番地の課題。この幅
財政健全化の同時解決を
であり、参加者は大いに
おり、5月に1回実施し、
広い分野を1つの委員会
図ろうと考えた」

新委員会発足、各会の活動活性化

メリハリある予算措置講じる

——昨年度に需給委員
会の2部制とし、2部
では講演会を実施し
た。講演会の感想を。
「昨年度は3回実施し、
高炉メーカ13社にそれ
ぞれ需給状況やカーボン

「安全と技術・保全是
試みを検討したい」
——人手不足・物流問
題・諸コスト高・DX
対応など喫緊の課題に
ついて専
門的かつ
迅速に検
討できる
ように新
や自販・受託など取引形
態に偏らず広く募ること
委員会を
とし、こころ2年で中
設けた。

「特命委員会を新設し、
山積する課題の中から喫
緊の課題にフィーチャー
することで会員各社の経
営に参考になることを期
待している。既に「人手
不足への対応」に的を絞
る地域拡大による会員
数増を検討している」
——副会長2氏を含め
て新たな役員体制とな
った。意気込みを。
「『働く役員』を標榜
と考えている」

次は8月。11月と2月は
でカバーすることは無理
がある。二つに分けてそ
れぞれに委員長が就き、
人数制限があったので活
動内容の深掘りなどを
進めていきたい」

「CC設備メーカが
待っている。既に「人手
不足への対応」に的を絞
る地域拡大による会員
数増を検討している」
——副会長2氏を含め
て新たな役員体制とな
った。意気込みを。
「『働く役員』を標榜
と考えている」

「今年度も活動を見
重要な課題となる。全国
直した。まず技術委員
CCと連携するセミナー
会を安全委員会と技術
品の相互利用など新たな
・保全委員会に分けた。

「今年度も活動を見
重要な課題となる。全国
直した。まず技術委員
CCと連携するセミナー
会を安全委員会と技術
品の相互利用など新たな
・保全委員会に分けた。